

網野史学とは

～以下、『網野史学』が残したもの』（毎日新聞 05.10.19）より～

網野氏が提起した問題点は、次のようにまとめられる。

- ①日本列島の民族、文化は単一ではない。東と西では相当異なる。
- ②「閉鎖された島国」という見方は誤り。海を介して列島外の地域を広く結びついていた。
- ③漂泊、遍歴から定住定着へ、あるいは採集経済から農耕、牧畜さらには工業へという「進歩史観」への疑義
- ④「日本」という国号や「天皇」は歴史的に形成されたもので、それゆえに絶対普遍ではない。改変、存廃を論じる対象

である

⑤水田耕作と農耕民を中心とした文化が、歴史的に一貫した特徴ではない。漁民や手工業者、狩猟や木工などさまざまな生業の人々の役割もおおきかった

- ⑥従来の歴史学が見落としてきた女性や老人、少年、被差別民などの研究が必要。

いずれも、日本史研究が見落としてきたものへの異議申し立てだ。